



【エス・ディー・ジー・ズ】

SDGs 17の目標

「社業を通じて社会に奉仕する」を基に事業展開しているアイセロは、購買から販売、商品開発、工場運営に至るまでコンプライアンスを念頭に置き、お客様、社会、環境への配慮を続けてきました。これらの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)に通じています。SDGs「17の目標」に、アイセロの事業活動がどのように関連しているのか「これまでの取り組みと今後期待されること」をまとめました。

SDGs「17の目標」の各目標を解説

各目標のアイコン

SDGs「17の目標」に関連している
・アイセロの考え方
・アイセロの取り組み
・今後、アイセロがすべきこと

世界からあらゆる貧困をなくす



アイセロはこれまで90年にわたり、日本を中心に事業活動を継続してきました。また、開発途上国に拠点を設け、地域の人々と共に発展してきました。グローバル事業の継続は、それ自体が目標達成への活動です。

持続可能な農業をすることで、すべての人々が生きるのに十分な食事が摂れるようにする



食品包装用シーラントフィルムの「中身を無駄にしないグレード」、水溶性フィルムの「農業包装」など、食品ロス防止や農業の発展に寄与する商品開発が、今後も期待されます。原材料、消耗品など調達品は、農産物の生産に悪影響を及ぼしていないかなどの配慮を継続します。

みんなが健康でいられる、そして、福祉サービスが受けられる



製品では、クリーン製品が医薬品の製造や医療機器の発展に寄与しています。工場では、適切に化学物質を管理し、社会への悪影響を排除しています。健康経営を推進し、また、安全衛生活動で安全と衛生意識を高め、社員とその家族の健康を重視し続けます。

誰もが平等に質の高い教育を受けられる



アイセロには、外国語習得、各種資格取得など「学習への支援制度」や、社員が企画に平等に応募し、参加できる「社内応募制度」があります。また、地域の教育活動にも参加しています。SDGsに関する発信も、アイセロの社会的責任を認識する教育の一環です。

性別による差別をなくそう



女性の活躍促進に向けた取り組みが評価されて「あいち女性輝きカンパニー」として愛知県から認証を受けました。また、ハラスメント対策や従業員の健康状態に配慮した労働環境整備も継続していきます。

安全な水と衛生的な環境を管理する



工場内の水の設備や配管を見直し、循環利用にも取り組み、劇的に水の使用量を削減しました。河川流入と下水利用への排水経路を明確に分け、河川流入する排水にはごみの混入を防ぐ対策もしています。

すべての人が手ごろな価格で安定的な発電による近代的なエネルギーを使える



太陽光発電設備を導入、再エネ電気の購入で持続可能なエネルギーの拡大に積極的に取り組んでいます。事務機器から生産設備に至るまで省エネを考慮し、導入しています。照明のLED化、低公害車の利用も実施しています。

経済成長を進め、すべての人が働きがいのある仕事を持つ



アイセロでは、スマート工場化を推進し、生産性の向上を図っています。加えて、明確な雇用条件の共有、労災を防ぐ雇用環境の整備、人事考課制度の維持、高齢者・障害者雇用の推進などのすべてが、働きがいのある職場づくりへの活動です。

持続可能な産業の発展のための技術革新



電子デバイスや自動車の発展に、クリーン製品や防錆フィルムを創造し、貢献しています。生産では、世の中の最新技術を積極的に導入し、品質と生産性の持続的向上を図り、また、研究開発を重視する精神を大切にしています。

国と国、同じ国の中での不平等を減らす



社是の一つ「全社一体」。お互いの力量を知り、理解し、協力して目標に向かう精神は、全世界のアイセログループ社員同士の尊重に繋がっています。公正公平な人事考課制度のさらなる改善や、高齢者・障害者雇用の促進などの課題も克服していきます。

安全で、災害に強いまちをつくる



防災対策、万が一の危機対応準備に真摯に取り組んでいます。廃棄物排出目標ゼロへの活動は約30年以上の歴史があります。これからは化学物質管理・削減、公害防止、地域の環境整備活動への参加など、安全で住み続けられるまちづくりに貢献していきます。

責任を持って生産し、責任を持って消費する



原料ロス削減、リサイクル、廃棄物排出目標ゼロ、使用済製品回収再商品化、バイオマスを利用した商品の開発に取り組んできました。これからも、3R+R推進、品質を保証した製品の提供で、循環型社会の形成に貢献していきます。

気候変動やその影響を減らすために、急いで行動する



省資源の取り組み、再エネ活用・省エネ活動、輸送効率化、社用車の低公害車への切り替え、敷地緑化、バイオPE商品開発などの取り組みで二酸化炭素排出量を削減してきました。製品での貢献も視野に入れ、2050年CNに向けて、2030年までの削減ロードマップも整備しています。自然災害に備えた事業継続計画も、この目標達成への取り組みの一つです。

海や海の資源を守る



河川流入と下水利用への排水経路を明確に分けています。原料やプラスチックごみが河川に流れ込まないように対策とその強化に取り組めます。河川の清掃活動にも積極的に参加。アイセロ製品が海を汚さないよう、リサイクル可能なクリーン製品、防錆フィルム、生分解性のある水溶性フィルムのような製品開発を継続していきます。

陸や森林の生態系を守り、再生する



「森の資源を守る」と認証された原材料の使用や紙の削減、木材パレットを他の素材に切り替えるなど、様々な活動に取り組んできました。今後もグリーン調達を基本とした製品を生産し、工場建屋、設備においては周りの環境(動植物)に配慮して、事業活動を行っていきます。

全ての人が司法で守られた安心・安全な社会をつくる



企業は、汚職や贈賄(ぞうわい)をしないことが法で定められており、アイセロ社員には当然の心得です。行動指針には「誠実な行動と健全な社会行動」がうたわれています。法令遵守と社会との健全で透明な関係を維持し続けます。

世界中の人々が連携し、協力する



アイセログループの行動指針には「取引先との互恵関係」がうたわれています。アイセロは、国内外の取引先との信頼関係を構築し、相互の発展を図っており、国際的な交流・連携に取り組んでいます。